

やまと

広報

9月号
2025 No. 301



表紙 ひらとみ祭りの花火

02-03 特集 第34回ひらとみ祭り開催

04-05 特集 5期目突入！村政の継続を力にさらなる発展を目指す、ほか

06-09 シマの話題

10-11 越後先生のしま診療だより、ほか

12-16 お知らせ、大和村長のフォトダイアリー、ほか

第34回ひらとみ祭り

夏の最後を彩る一大イベント



お礼

去る8月31日に開催いたしました「第34回ひらとみ祭り」は



ひらとみ祭り実行委員会
会長 喜島 力也

村内外より多くの方々にお越しいただき、盛大かつ華やかに無事終了することができました。

今回、ひらとみ祭りを開催するにあたり、時折雨風が吹き心配されましたが、舟漕ぎ競争大会では、エンガの部で「小湊舟勝負隊」が初優勝、メラブの部で「#清水集落」が3年連続で優勝に輝き、今年も多くのドラマと感動が生まれました。

また、お楽しみステージショーでは、村内保育所生による神輿担ぎのオープニングに始まり、村民を中心とした各種ダンスの披露や生歌演奏、仮面ライダーのヒーローショー、大和村の観光大使である奄美島唄 Duo すもものお二人と城南海さんの生歌で会場を盛り上げていただきました。盛大かつ華やかに打ち上がった花火の後には、豪華景品が当たる大抽選会で、無事幕を閉じることができました。

これもひとえに、皆様方から頂きました絶大なご協力の賜物と心より感謝を申し上げます。そして、今後も大和村連合青年団一同、感謝の気持ちを忘れずに「小さくとも光輝き続ける」大和村の一員として青年団活動に取り組んで参る所存です。



ふなこぎ競争競技結果

- エンガの部
 - 優勝 小湊舟勝負隊
 - 2位 丸潮漕友会本隊
 - 3位 国直青年団
- メラブの部
 - 優勝 #清水集落
 - 2位 Orca
 - 3位 丸潮漕友会レディース

観光大使の委嘱式を開催

城南海さんと奄美島唄 Duo すもものお二人に大和村観光大使の再委嘱を行いました。城南海さんは、平成27年から3期に渡り本村の観光大使に就任いただいています。全国各地でのコンサート活動を通じて、ふるさと奄美や大和村の魅力を広く発信していただいています。

奄美島唄 Duo すもものお2人には平成29年から2期に渡り本村の観光大使として県外でのイベントや郷友会などで、多数出演いただき大和村のPRに努めていただいています。

引き続き大和村の特産品の情報発信などにご尽力いただけることを期待しています！

写真提供（表紙含む）：大和村連合青年団



大和村集落まるごと体験協議会の活動レポート

日本 - ゆっくりできる
ロングステイの村をめざして



特別編

今回は、国直で行われているサンゴ礁生態系保全プロジェクトについて、実施団体である世界自然保護基金ジャパン（WWF ジャパン）の自然保護オフィサー佐々木小枝さんに執筆いただきました。WWF ジャパンは、人が自然と調和して生きられる未来をめざして環境保全活動を行なっています。

国直でサンゴ礁生態系保全プロジェクトを開始しました！



国直集落と海

「海の熱帯雨林」と呼ばれるサンゴ礁

サンゴ礁は、全ての海洋生物種の4分の1がすみかとし、地球上で最も生物多様性が豊かな環境を作り出しています。人間も食料の調達や観光業、防波効果など、多くの恩恵を得ています。

しかし1960年代以降、南西諸島では人間の社会経済活動の拡大やオニヒトデ等食害生物の大発生により、生息環境が悪化しました。



国直の海
(白く見えるサンゴは白化)

サンゴ礁生態系の保全は急務！

近年、気候変動に伴う海水温の上昇が進行し、サンゴの白化（※）や死亡が増加しています。気温上昇を1.5度に抑えても世界全体のサンゴの70～90%が失われ、2度以上の場合は99%が失われるという予測もあり、サンゴ礁生態系の保全が急務となっています。

※共生する褐虫藻がサンゴの体内から失われ、白い骨格が透けて見える現象。白化状態が続くとサンゴは栄養源を失い死んでしまう。

国直の海は、サンゴの多様性が高い！

国立環境研究所や奄美群島サンゴ礁保全対策協議会、奄美海洋生物研究会の協力のもと WWF ジャパンが行った調査の結果、サンゴの種類や発達、白化と回復状況などについて、国直の海域は南西諸島のなかでも保全上重要性の高い海域と特定されました。

5月には自治会から保全活動の実施について承認を頂き、7月にはサンゴ分類の専門家と潜水調査を実施。国直の海で日本のサンゴ種の3分の1以上に相当する133種のサンゴを確認しました！



サンゴ礁調査の様子

今後は、国直の海のサンゴ礁生態系や、集落の生活・文化と海の関わりに関する調査を行ない、その結果をもとに、生活・文化に根差した形でのサンゴ礁保全の取り組みを集落の方々と一緒に考え、実施する予定です。大和村の皆さん、活動へのご理解とご協力をお願いいたします。



国直集落常会での活動説明会

写真：© WWF-Japan、© 日本大学 藤井琢磨

5期目突入！

村政の継続を力に
更なる発展を目指す



大和村117年の歴史で初めて、5期連続で村長を務めることとなった伊集院村長。9月10日に就任式が行われました。マニフェストを抜粋編集して掲載します。

行財政改革の推進

デジタル化を推進し、住民サービスの向上と効率的な行政運営を図ります。

関係人口の創出

「アミノクロウサギミュージアム Quru Guru」を高等教育機関等と連携した調査・研究施設と位置づけ関係人口を創出します。

特産品ブランド化の促進

「皇室献上すもも」や「たんかん」の産地としての立地条件と環境的特徴を活かし、企業と連携したブランディングを推進します。

自然保護の推進

自然環境保全に取り組み、自然体験観光客のリピーター化を推進し、大和村の自然保護の応援団を創出します。

官民連携による観光振興

民間観光施設と官民連携で周遊コースの整備・充実を図ります。

教育環境の充実

認定こども園等の整備検討を進めます。

旅行会社と連携し、大和村での観光ルートを確立し、観光誘客を推進します。

大和中学校のグローバル人材育成のため、国際交流事業を隔年で実施します。

福祉政策の充実

高齢者施設の避難体制の充実を図ります。

インターネット方式の学習塾を継続し学ぶ機会を創出します。

健康づくりとして温泉利用を促進します。

道路交通網、生活環境の整備促進

生活排水対策を推進し生活環境保全を図ります。

防災力向上による安全・安心な村づくり

避難施設の機能充実を図ります。

県道名瀬瀬戸内線（大金久・戸円間）のトンネル整備の早期着工に努めます。

山間部の村道整備と合わせて村内の集落道の再整備を図ります。

楽しくつながるサークル

大和村に、子育てサークル「すもたん」ができました。主催は大金久在住の西有花さん。横浜から移住して3年、大和村で2人のお子さんを育てる中で「雨の日や暑すぎる日は外で遊べないし、家以外でどこか室内で遊べる場所があれば」と感じていたところ、同じ思いを持つ保護者がほかにいると知り、思い切ってサークルを立ち上げたそうです。

活動は、土日祝日の月1回程度で、おもちゃを持ち寄り子どもたちが一緒に遊び、保護者同士も繋がりを持てる、といったゆったりとした交流の場となっています。参加者からは「同じ年ごろの子と遊ばせることができるのが嬉しい」との声も。

子育て中のママ・パパ・ご家族ならどなたでも大歓迎。気軽に遊びに来てみませんか？参加者はLINEオープンチャットで随時募集中です！



第2弾大和村デジタルスタンプラリーを開催しています。スマートフォンを使って村内の名所を巡るもので、期間は8月1日（金）から10月31日（金）まで。20か所のチェックポイントのうち5か所以上でスタンプを集めると抽選への応募が可能です。村内利用券やまほろば館ギフトセットなど豪華景品がスタンプ数に応じて用意されています。村民の方も参加できます。チェックポイントを巡り、大和村の自然や文化を再発見してみませんか？



大金久子ども食堂

大金久集落の支えあいグループ「あいこの会」（代表 賀川國貞さん）の取組を紹介します。あいこの会では、「子どもカレーの日」をスタートさせました。偶数月の第3日曜日に、集落の子どもたちのためにカレーの昼食を用意するもの。8月は、子育てサークルの参加者もカレーとかき氷をごちそうになりました。

あいこの会では、毎月第2木曜日にランチの提供も行っており、集落の高齢者は無料で、一般の方は一食700円。配達も行っているとのこと。

みんなでご飯美味しいね

この夏、保健福祉課では新事業「やまとつながるごはん」を実施しました。児童生徒たちの長期休業期間の孤食を防ぎ、地域のつながりを育む取り組みとして、無償で昼食を提供しました。夏休み期間中は、12回実施し、冬休みや春休みにも継続して行う予定です。

調理は、防災センターの厨房でボランティアの調理員が担当し、毎食およそ70食を準備しました。学童保育を利用する子どもたちや、部活帰りの生徒などが集まり、一緒に食事を楽しみました。調理には、高校生も参加し料理を通して世代を超えた交流の場にもなりました。

この事業は、令和6年2月に行った育児に関するニーズ調査において「食事の提供」に関する要望が上がったことから実施を決定。担当者は「多くのボランティアの皆さんのおかげでスムーズに実施することができた。少しでも育児環境の充実につながればうれしい」と話しました。



カヌー男子、連覇達成！

第66回大島地区大会が奄美群島の各市町村会場で開催されました。大和村からは9種の競技に総勢114名が参加。今年も若い世代からベテランまで幅広い村民が大会を盛り上げました。大会では、カヌー（男子）、バドミントン（女子）、水泳（男女とも）、軟式野球、ソフトテニス（個人戦）で優秀な成績を収める活躍がありました。

特に、カヌー競技男子の部では、見事4年連続優勝を果たしました。女子も惜しくも決勝進出はなりませんでした。最後まで全力を尽くしました。

8月5日、大島地区スポーツ大会・スポーツ少年団競技別交歓大会解団式が開催され、伊集院村長が参加者の奮闘をねぎらいました。記録や順位にかかわらず、「挑戦し続けること」「参加し続けること」こそ大きな意義があります。来年もさらに多くの村民が参加し、新たな挑戦を重ねていくことを期待します。



写真：村民提供



村政参加を疑似体験

8月6日、大和村役場2階議場にて第13回子ども議会が開催されました。これは、村政に関心を持ち、政治の仕組みを学ぶ場として教育委員会が毎年開催しています。村内小学校の6年生7名が議員となり、大和村当局に対して一般質問しました。今年の議長は、勝遥也さん（名音小）が努めました。

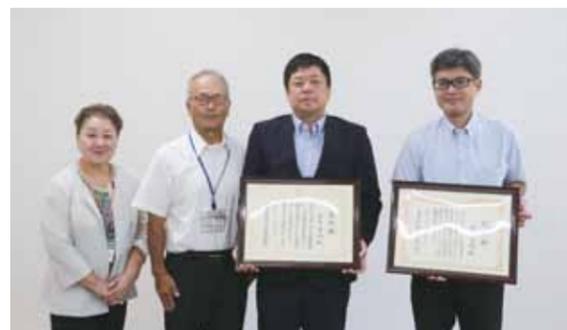
子ども議員からは、プールの修理、雨の日の遊び場、スポーツに取組みやすい環境作り、先生の働く環境などについて質問がありました。

大和村における女性の政治参加や社会進出について質問した納琉亜さん（名音小）は、「大和村ではこれまで女性議員がいないと知り、いて当たり前と思っていたのでとても驚いた。女性議員が一人でも誕生するよう女性の社会進出に取り組んでほしい」と語りました。子ども議員の気づきや思いを今後の村政に反映できるよう取り組んでいきます。



尼崎市の生徒と交流

奄美群島と兵庫県尼崎市が連携して行う「AMA フレンドシップ事業」が、本年度からスタートしました。奄美群島にゆかりのある住民が多い尼崎市との関係を深めることが目的の一つです。事業の一環で、8月19日、尼崎市の中学生34名が大和村を訪れ、大和村の小中学生と交流しました。大和村の子ども達が率先して防災センター周辺を案内したり、アマミノクロウサギミュージアム QuruGuru では、共にクロウサギの生態について学び、一緒に楽しい時間を過ごしました。



長年の功績に表彰

全国市町村教育委員会連合会の功労者賞が前大和村教育委員の屋井智昭氏に授与されました。鹿児島県市町村教育委員会連絡協議会からは感謝状が贈呈されました。

屋井氏は、大和村教育委員を平成28年10月1日から令和6年9月30日までの2期8年務められ、本村の教育行政発展のため尽力されました。「教育長、徳先生を始めとする皆さんのおかげで、未経験ながら務めることができた。今回の賞は皆様への賞だと思っている」と感謝を述べられました。



平和を祈念し追悼

8月15日、大和村防災センターで戦没者慰霊祭（追悼式）が行われました。村内からは戦没者遺族、村議会議員、学校関係者、児童生徒らが参列。村長の式辞、遺族会代表や議会議長による追悼のことばが述べられ、参列者一同で献花を行いました。本村出身の戦没者229柱の尊い命をしのび、世界の恒久平和を祈念しました。生徒代表で参列した川畑美月さん（大和中3年）は、「自分たちのなかにある偏見をなくし、争いのない世の中になってほしい」と平和への期待を語りました。

クロウサギを知ろう！

アマミノクロウサギミュージアム QuruGuru において、夏休み特別企画「夜のクロウサギは何してる!？」が開催されました。対象は村民で、2回の開催に合計28人が参加しました。くるぐるでは、屋外飼育場でアマミノクロウサギ1頭（愛称ユワン）を飼育しています。夜行性のクロウサギが活動を始めるのは日没のころ。参加者は、くるぐるの閉館後に特別に入場し、ユワンが巣穴から出てくる瞬間を観察しました。ユワンが姿を現すと待ちわびていた参加者からは、ユワンを驚かせないように小声で歓声が上がりました。

観察の後は、獣医師からクロウサギの生態や飼育されている個体の来歴について解説がありました。また、ユワンの巣穴に設置したカメラの映像から、クロウサギが目を閉じて眠る姿の貴重な映像が公開され、参加者は学びを深めていました。



大和村民の元気のために
保健福祉課から元気情報を
毎号お届けします！

大和村福祉事務所って一体どんなところ？

大和村では、令和5年に福祉事務所を設置し、様々な相談を受け、相談者と一緒に困りごとの解決に取り組んできました。相談がありましたら、お電話等でお気軽にご相談下さい。また、電話や来庁が難しい方は、ご自宅へ訪問し、相談をお伺いすることも可能です。

.....こんな困りごとはありませんか？.....

失業や病気で仕事が
できず生活が苦しい

収入はあるのに
浪費等で生活が苦しい

生活が苦しく
家賃の支払が困難になった

就労したいけど
安定した就労に繋がらない

子育てをしながら
経済的に余裕がない

ケガ等で一時的に
収入がなくなった



.....相談内容の秘密は厳守します。.....

【問合せ先】保健福祉課 電話：0997-57-2218 メール：hoken@vill.yamato.lg.jp



血圧の管理は未来の自分への投資！

文 / 医師 越後 整

今回は、身近でありながら放っておくと怖い病気——高血圧についてお話します。

高血圧は、頭痛や動悸などの分かりやすい症状が出ることは少なく、気づかぬうちに進んでいきます。脳卒中や心筋梗塞のような命に関わる病気の原因となり、さらに心不全や腎不全にもつながる恐ろしい病気です。特に腎不全になってしまうと血液透析が必要となり、村内での治療が難しいため、名瀬まで定期的に通う生活を余儀なくされてしまいます。そうなる前に、普段からしっかりと血圧を管理していくことが何より大切です。

血圧は一日の中で変動するため、診療所での測定だけでは正確な状態が分からないこともあります。ご自宅で、毎日決まった時間に血圧を測ることがとても大切です。

おすすめは朝起きてすぐ、トイレに行ったあとに1回測ることです。数値を血圧手帳やメモに記

録し、診療所に持ってきていただくと、診療で大変役立ちます。血圧の目安は、若い方も高齢の方も「130/80以下」が理想とされています。生活習慣の改善とお薬の力をうまく組み合わせれば、必ず近づけることができます。減塩、適度な運動、十分な睡眠、そしてストレスをためすぎないことも大切です。

「血圧の管理は未来の自分への投資」です。今しっかり取り組むことで、将来も安心して大和村で暮らすことができます。一日でも長く健康で笑顔のある生活を送れるよう、これからも診療所でお手伝いしていきたいと思ひます。ぜひご自身の健康のために、できることから取り組んでいきましょう。

自動血圧計の購入は、診療所から注文できます。
ご希望の方は気軽にご相談ください。

クロウサギとあなたと歩む くるぐるの道



アマミノクロウサギミュージアム Quru Guru
の取組等を紹介していきます。

アマミノクロウサギは森の中で様々な植物をエサとしている草食動物です。くるぐるでは、飼育しているクロウサギに与えるエサを毎朝近隣の山から採集しています。これは、なるべく野生での暮らしに近づけられるよう配慮しているためです。

一日に与える植物は5種類前後。好んで優先的に食べる植物もあれば、食べるものが残り少なくなってから食べる植物もあります。

また、好んで食べる植物でも、採集する時季が変わったり採集する部位（新芽近くかそうでないかなど）が変わったりすると、なかなか口をつけなくなることがあります。食にはこだわりがあるようです。野生では、多種多様な植物を季節ごとに楽しんでいるのかもしれないね。

採集場所に行くと、日光を求めて高く成長する植物や日陰にびっしりと育つ植物、地面を這

うように生息域を広げる植物など、植物の個性と種類の多様さに驚かされます。植物採集しながらクロウサギのフンを見かけることも珍しくありません。

クロウサギの暮らしは生命力溢れる様々な植物に支えられています。その豊かな自然が、私たちのすぐ近くに広がっているのです。



柔らかく食いつきの良いものだけでなく、あまり美味しくなさそうな繊維質なものもバランスよく採集することを意識しています。



みんなで知って知らせて減らすロードキル！ 9～11月はアマミノクロウサギ交通事故防止キャンペーン期間です！

▶ 大和村では、県道79号線（嶺山公園～今里）でアマミノクロウサギの交通事故が多発しています。運転する際は、以下の点に注意して、安全運転をお願いいたします。

☀️ 減速運転 ☀️

事故多発区間や、カーブ区間では
スピードを落としましょう

☀️ ハイビーム運転 ☀️

路肩に注意し、生き物を早めに発見しましょう

☀️ かもしれない運転 ☀️

飛び出してくるかもしれない、目の前にいるかもしれない、と注意しましょう



保護活動によって個体数や生息地が回復してきたため、より身近な存在になってきたアマミノクロウサギ。みなさまの安全のためにも、夜間はゆとりある運転をお願いします。

やむを得ずひいてしまっても罪に問われることはありません。ケガをしている、死んでいるアマミノクロウサギを発見したら、下記までお電話下さい。

<環境省奄美野生生物保護センター TEL：0997-55-8620 >

ミカンコミバエ セグロウリミバエ にご注意ください



これらは、東アジアなど海外から飛来し、農作物に被害を与える昆虫です。

生産者や家庭菜園をお持ちの方、庭に果樹などをお持ちの方は、これらのハエが果実に卵を産み付け、幼虫が寄生する可能性があります。まん延すると、発生地域の果実は移動制限や廃棄処分になることがあります。

— ミカンコミバエ —



体長約 7mm
カンキツ類、スモモ、マンゴー、パッションフルーツ、カキ、ビワ、トマト、ナスなどに寄生します。熟した果実を好みます。

— セグロウリミバエ —



体長 8~9mm
ニガウリやカボチャ、キュウリ、ヘチマ、冬瓜、などのウリ科全般、トマト、ピーマン、唐辛子、グアバやドラゴンフルーツ、パパイヤなどの果物に寄生します。

発生やまん延を防止するために、下記のこと注意してください

- ①適切な防除をしましょう
農薬散布などの適切な害虫防除・栽培管理をしてください。
(農薬用薬剤については、産業振興課までお問合せください。
使用例: ダントツ水割剤 2000 倍)
- ②不要な果実を放置しないでください
落下した果実は、地中に埋めるか、ビニール袋に入れて処分してください。収穫期を迎えた野菜や果物は、収穫遅れのないよう適期収穫をお願いします。
- ③島内消費にご協力ください
現在、鹿児島県ではこれら作物の移動は規制されていませんが、可能な限り島内で消費していただくようお願いいたします。

④関係機関へ連絡してください
寄生が疑われる変色・変形した果実を見つけたら、速やかに関係機関までご連絡ください。

大和村では、8月25日のトラップ調査によって、ミカンコミバエ種群が誘殺されました。誘引剤と殺虫剤を含ませた木質繊維の板「テックス板」の設置や、ベイト材(殺虫剤+たん白加水分解物)のスポット散布を行い、再侵入を防いでいます。

お問い合わせ先
門司植物防疫所名瀬支所 0997-52-0459
鹿児島県大島支庁農政普及課特殊病害虫係 0997-52-0299
大和村産業振興課 0997-57-2153

●名瀬クリーンセンターより

【ゴミ袋の料金について】

令和7年10月1日から、「ゴミ袋」の販売価格が変わります。ご迷惑をおかけしますが、何卒ご了承くださいますようお願いいたします。

10月1日から値上がりします！
 ゴミ袋小 209円 ↓ 253円
 ゴミ袋大 319円 ↓ 385円



●保健福祉課より

【へき地保育所で一時保育開始】

大和・大棚へき地保育所において令和7年8月から一時保育の利用を開始しました。利用対象者は2歳児から5歳児(就学前)の児童で、以下の理由により一時的に保育が必要と認められるものです。
 ①保護者の看護及び介護等による育児困難
 ②保護者の疾病 入院等
 ③保護者の育児疲れの解消
 利用料金は、1日2000円です。利用日数は、月に15日以内です。
 詳細は、保健福祉課へご連絡ください。
 ■問合せ先 保健福祉課
 電話0997・57・2218

【インフルエンザと新型コロナウイルスの予防接種について】

インフルエンザと新型コロナウイルスの予防接種は同時接種ができます。対象者には別途お知らせを郵送しています。
 ○助成対象者
 ・接種日時点で65歳以上の方
 ・65歳未満で身体障害者手帳1級相当の方
 (対象者にはお知らせと共に予防票を送付しております)
 ○接種期間
 令和7年10月1日〜令和8年3月31日
 ■インフルエンザ
 本人負担額 1000円
 持参するもの 予防票(水色)
 ■新型コロナウイルス
 本人負担額 4000円
 持参するもの 予防票(黄色)
 ※いずれも生活保護世帯の自己負担額はありません。
 ◎子どものインフルエンザ予防接種においても任意予防接種助成があります。償還払い対応になりますので、詳細はホームページをご覧ください。

●海上保安庁より

【海の「秋季安全推進活動」について】

漁船・小型旅客船・遊漁船海難と釣り中の事故ゼロを目指して、奄美海上保安部・古仁屋海上保安署では、漁船・小型旅客船・遊漁船の事故防止及び釣り中の事故防止を目的とした「秋季安全推進活動」を実施します。
 『事故防止の主なポイント』
 □船舶を操船される方は、常時適切な見張りの徹底、気象及び海象の把握、ライフジャケットの着用、発航前検査の実施
 □釣りをされる方は、天気や体調を確認し無理をしない、行き先及び帰宅時間を第三者に伝え単独行動しない、立入禁止区域内に入らない、適切な装備(ライフジャケット、携帯電話、防水ケースなど) また、海上保安庁緊急情報メール配信サービスも活用願います。
 ■問合せ先
 奄美海上保安部交通課
 電話0997・53・5569

緊急情報メール配信サービス
 気象情報や緊急情報を配信します
 登録はこちらから↓



無料法律相談のご案内 (奄美法律センター)

奄美市と鹿児島県弁護士会が共同で開催しており、大和村民も無料で相談することができます。

※時間は30分です。(事前に相談内容をまとめておくと効率的です。同じ人が続けてお申込みされることはご遠慮いただいています。)

月	日	担当弁護士名	午前	午後
11	13	佐用 理紗	—	13:00~16:30
	20	岡本 敏徳	9:30~11:30	—
	27	高橋 昭広	11:00~12:00	13:00~15:30
12	4	岡本 敏徳	—	13:00~16:30
	11	野間 修平	9:30~11:30	—
	18	村山 耕次郎	11:00~12:00	13:00~15:30

【予約】奄美市役所市民協働推進課 電話 0997-52-1111
 【問合せ】大和村役場住民税務課 電話 0997-57-2127

大和村長のフォトダイアリー

写真と共に村長の活動を
報告いたします。

この度の村長選挙におきまして、多くの村民の皆様のご支援を賜り、無投票にて再選を果たすことができました。誠に光栄に存じますとともに、改めてその重責を痛感し、身の引き締まる思いでございます。今後4年間、村民の皆様のお声を大切にしながら村政に生かしてまいりますので、よろしくお願い申し上げます。



さて、大和村もここ数年で人の流れが変わってきました。3年半前に宮古崎トンネルが開通し、昨年は奄美初となる温泉施設「奄美温泉大和ハナハナビーチリゾート」が開園、本年4月には「アミノクロウサギミュージアム Quru Guru」が開所しました。交通の利便性が高まり、観光拠点整備が進んだことで、大和村の魅力がより広く発信されています。大和村の魅力を体感しに来られる方々が一層増えていると感じております。引き続き村の知名度向上を目指してまいります。

今後とも村民の皆様方からの変わらぬご指導とご協力を頂きますようお願い申し上げます。

こせきの窓

人口 1362人 (△ 30)
男 707人 (△ 7)
女 655人 (△ 23)
世帯 826世帯 (△ 12)
8月31日現在
(前年同月比)



アミノクロウサギ事故件数
92件
不明・その他 49件

戸円から今里までの県道79号線で
交通事故多発中！

ケガをしているアミノクロウサギや
死体を見つけたらお電話ください！

奄美野生生物保護センター
電話 0997-55-8620

2025年9月2日現在

- お誕生おめでとう！** **くわらばち**
- ルツセル 麻陽さん (保護者 エレミ・広海/津名久)
 - 川下 紘さん (保護者 光・亜里寿/大棚)
 - 江崎 心花さん (保護者 隼太・亜輝美/湯湾釜)
 - 藤村 凱さん (保護者 倅生・まりな/大棚)
 - 向井 梨緒さん (保護者 惇・博美/大金久)
- お悔やみ申し上げます**
- 讚良 賢一様 (88歳・名音)
 - 上原 繁様 (94歳・湯湾釜)
 - 當 豊重様 (90歳・戸円)
 - 奥田 實彦様 (96歳・大棚)
- 香典返し(社会福祉協議会へ)**
- 奥枝 敬三様 (故奥枝セキ様)
- ふるさと納税** **ありがとうのギフト**
- 中安 辰弥様 (兵庫県)
 - 渡邊 聖午様 (山口県)
 - 平井 隆彦様 (大阪府)
 - 木内 志朗様 (東京都)
 - 窪山 至様 (埼玉県)
 - 上村 文彦様 (鹿児島県)
- 掲載を希望されない
寄附者様43名



たいら そうま
平 想真さん



母 佳奈さん (名音)

保護者からのコメント

「これからも元気にすくすく育ててね！」



もとだ かえ
元田 花笑さん



父 豊春さん
母 夏美さん (湯湾釜)

保護者からのコメント

「素敵な笑顔と、大きな泣き声！
いつも癒しをありがとう！
これからも、よく食べよく眠り大きく成長
してね！花笑ちゃん、だーい好き」



さかもと るり
坂本 瑠璃さん



父 亥さん
母 麻衣さん (大棚)

保護者からのコメント

「るりちゃんの笑顔でみんな幸せだよ。
これから好きな事をたくさん見つけてね。」



きくち そらまる
菊地 空丸さん



父 諒さん
母 由佳さん (大棚)

保護者からのコメント

「いつもニコニコの笑顔で家族を幸せに
してくれてありがとう。
これからも健やかに成長しますように。」



ふくなが あらた
福長 新大さん



父 直大さん
母 彩さん (思勝)

保護者からのコメント

「いつもニコニコ笑顔で、たくさんの癒しをありがとう。
これからも元気に、すくすく大きくなってね！
生まれてきてくれて、本当にありがとう。」



第4回 長田須磨 シンポジウム



長田須磨 Suma Osada

1902年奄美大島の和村生まれ。1950年頃、柳田国男主宰の女性民俗研究会に参加し、奄美民俗の研究を志す。「奄美方言分類辞典」「奄美の生活とむかし話」等の著作・編纂を手がける。1998年逝去。

2025年11月15日(土) 14:00~16:30

場所 大和村防災センター／参加無料

長田須磨は、「私は最後の奄美古人」と自分を表し、発音しにくい奄美方言を辞書と音声に残しました。これらの長田の業績を軸に、奄美に伝わる大切な文化を、新しい形を含めて継承していくために、出生地である大和村でシンポジウムを開きます。

プログラム

[第1部] 講演

「奄美の女性誌」から見る長田須磨の世界

久留ひろみ (学術博士、NPO 法人奄美食育食文化プロジェクト理事長)

[第2部] 実演・実食

大和村の食文化から「月見だんご」

久留ひろみと大和中学校生徒

[第3部] 講演

奄美文化継承プロジェクトの今までとこれから ～長田須磨文庫と長田須磨シンポジウム～

見目正克 (奈良女子大学名誉教授)

今回のテーマは
奄美の女性と食文化

申し込み方法

電話か申込フォームでお申込みください。

電話 0997-57-2154 (平日 8:30-17:15)

申込フォームはこちら→

担当: 大和村教育委員会 豊原

YouTubeでの視聴もこちらのQRコードでお申込ください



主催: 奄美文化継承プロジェクト 共催: 大和村

この事業は、朝日新聞文化財団から助成を受けています



←バーコード読み取り機能付き携帯電話をご利用の方はここから大和村ホームページへ簡単にアクセスできます。それ以外の方は直接URLを入力してアクセスしてください。
(<http://www.vill.yamato.lg.jp>)

発行・編集 大和村役場企画観光課
〒894-3192 鹿児島県大島郡大和村大和浜100番地
TEL 0997-57-2117 FAX 0997-57-2161
mail:kikaku@vill.yamato.lg.jp
<http://www.vill.yamato.lg.jp>